

— 静かな夜と空を返せ —

発行日：2021年11月25日

発行者：大沢豊／福本道夫

No.51

横田・基地被害をなくす会 NEWS

原告団 NEWS No.42

合同
発行

連絡先：〒196-0003 東京都昭島市松原町4-10-24-100 青山事務所気付

E-mail：なくす会⇒yokota_nakusukai@yahoo.co.jp 原告団⇒yokota9th@yahoo.co.jp

Web サイト <http://yokota-nakusukai.sakura.ne.jp/>

発行：横田・基地被害をなくす会／第9次横田基地公害訴訟原告団

※ NEWSは「横田・基地被害をなくす会」と「第9次横田基地公害訴訟原告団」の合同発行です。

2月6日 原告団解団式に参加を

2022年2月6日(日)14時～昭島市環境コミュニケーションセンター・プラザ棟2階において、第9次横田基地公害訴訟原告団の解団式を行います。(下記地図参照)

私たち原告団は、2012年11月11日に結成

し、同年12月12日に東京地裁立川支部に提訴、その後、地裁判決(2018年11月30日)を経て東京高裁に控訴、高裁判決後(2020年1月23日)、一部代表原告が最高裁に上告、本年＝2021年1月27日に…(次ページに続く)最高



裁決定が出され、裁判闘争は終了しました。

この間、次期訴訟や裁判の総括について検討してきましたが、予定より遅れた来年2月6日に、原告団の解団式を行うことにしました。

現在、原告団とそれを支えてきた「横田・基地被害をなくす会」の役員を中心として、次期訴訟の検討に入っていますが、並行して訴訟の総括作業も行っています。そして、総括の完成と次期訴訟の動き出しの目標を、2月6日の解団式の日として、諸作業を進めています。

今現在コロナ感染は100%収束したとはいえ、来年2月の時点で原告団の解団式を大々的

に実施できるという判断ができないため、遠隔地の皆さんや感染を心配される皆さん用にオンラインを使い、また、参加人数を絞り、飲食を伴わない解団式を計画しています。

原告団員と横田・基地被害をなくす会の会員で参加希望の方は、オンライン参加の方も含め、必ず以下に連絡してください。

なお、オンラインでの参加方法については、希望者に別途お知らせします。

棟棠（ていとう）TEL 090-1468-4211

塚本 TEL 090-4227-8598

オスプレイ横田基地配備3周年・・・

横田基地メインゲート（第2ゲート） でスタンディング&リレートーク

2018年10月1日、横田基地にCV-22オスプレイが「正式」に配備されて一周年の10月1日から“1”の日行動として、毎月1日、雨の日も風の日も・・・コロナ禍の「緊急事態宣言」下も、元旦もスタンディングを続けています。沖縄：辺野古新基地はいらない！などの闘いから学び連帯の意も含めての行動です。

3周年は10月1日・・・「雨の日も」と記しましたが、文字どおり激しい雨が降る中での行動、幟旗や横断幕もビショビショ、それでも6団体13名が集まり、思い思いのスピーチを、国道16号を疾走するドライバーや周辺住民、もちろん基地にも向けてオスプレイの深夜・超低空訓練の危険性と騒音とりわけ低周波からの健康被害への危惧等、横田基地からの撤退を強く訴えました。この行動は11月1日も行われ、毎月1日の行動は続けられます。直接、米軍横田基地に対するアピール行動、都合がつけばぜひ立ち寄って一言でも横田基地への思いを訴えていただければ幸いです。月例の第2ゲート前“1の日”行動は毎回午前11時からです。

さて、オスプレイ・・・横田基地周辺でも度々落下事故を繰り返してきましたが、普天間基地所属のMV-22オスプレイも事故が絶えません。つい先日また部品落下事故を起こしています。それに記憶も新しいところですが、横田基地所属のオスプレイが山形空港、仙台空港で相次いで緊急避難着陸（米

軍は予防着陸と発表しましたが）を繰り返しました。CVオスプレイの事故率は上がり続けています。

南西諸島の軍事要塞化が進められ、11月14日には宮古の陸自基地にミサイルが強行搬入、続いて石垣島にも19日から史上最大規模の「自衛隊統合演習」が始まり開示艦艇が次々とフェリー埠頭に接岸、南西諸島は軍事要塞化からまるで戦争前夜を思わせる事態となっています。沖縄のマスコミは大々的に報道、警告を発していますが、「本土」のマスコミはベタ記事報道です。

横田基地からのオスプレイ撤去、そして沖縄との連帯を込めて“1の日”行動は続けられます。

第9次横田基地公害訴訟原告団 事務局長 棟棠



横田基地の状況(2021年9月～)

※資料は「yokotajoho のブログ」を参照したところが大きい。また、協力者の目撃情報による内容も加味されている。

◇ CV-22 オスプレイ訓練状況 (21年9月15日～)

※横田基地周辺で行われている訓練。「夜間」は19時以降の飛行で、「**」は22時以降。未確認あり。

※「*」は実施の意味。P 降下=パラシュート降下訓練(今回は未実施)。 ※確認できた訓練のみ掲載した。

日付 (曜日)	訪問地	稼働 機数	訓練内容(物料投下訓練除く=未実施)								目撃情報(遠隔地), 備考
			離着 陸	夜間	旋回	ローハ ス	ホバリ ング	ホイ スト	射撃	P 降 下	
9/15(水)		1		**							南から帰投
9/16(木)		1		*							北へ
9/17(金)		1			*						
9/20(月)		1		*							南へ
9/21(火)		2									南へ(不帰)
9/22(水)	仙台空港	2			*						南から～北へ
9/23(木)		2						*			仙台空港へ支援
9/24(金)	仙台空港	1									仙台空港から帰還
9/27(月)		2		*	*	*	*		*		湘南, 埼玉
9/29(水)		2		*	*						
9/30(木)		2		*	*			*			
10/2(土)		2		*							南に～帰還
10/5(火)		1		*	*						
10/7(木)		2?		*	*						yokotajoho 記載なし
10/14(木)		2									岩国に出張
10/15(金)		2									
10/18(月)		2		**				*			23:40 頃帰投
10/19(火)		1		*							
10/20(水)		2		**							23:59 頃帰投
10/22(金)		1	*		*			*			埼玉・神奈川
10/26(火)		1	*	*	*			*	*?		
10/27(水)		2		*					*		
10/28(木)		2		*				*?			
11/1(月)	沖縄	2									沖縄まで飛行
11/2(火)	岩国基地	1		*				*?			焼津・大津
11/5(木)		1	*	*	*			*			
11/9(火)		2			*						
11/10(水)	2機沖縄	3			*			*			沖縄から2機帰投
11/15(月)		1			*?						
11/23(火)		2		*	*			*?			御殿場市・小山町

◇戦闘機飛来状況 (21年9月～)

月日・曜日	時刻	機種	機数	所属	離着陸
9/27(月)	8:22	F-15C	2	在日米空軍・嘉手納基地	着陸・北向き
	9:53	F-15C	2	在日米空軍・嘉手納基地	離陸・北向き
10/15(金)	17:32	F/A-18E	5	米海軍	着陸・南向き
10/16(土)	10:47	F/A-18E	3	米海軍	離陸・南向き
	10:57	F/A-18E	2	米海軍	離陸・南向き
	12:09	F/A-18E	3	米海軍	着陸・南向き
	12:14	F/A-18E	2	米海軍	着陸・南向き
10/18(月)	12:32	F/A-18E	2	米海軍	離陸・北向き
10/22(金)	14 時頃	F/A18	5	米海軍	着陸・北向き
10/24(日)	15:16	F/A-18E	3	米海軍	着陸・北向き
	15:18	F/A-18E	2	米海軍	着陸・北向き
10/26(火)?	不明	F-16CM	2	米空軍・三沢基地	着陸
10/27(水)	11:57	F-16CM	2	米空軍・三沢基地	離陸・南向き
	13:28	F-16CM		米空軍・三沢基地	上空・北向き
	13:35	F-16DM		米空軍・三沢基地	上空・北向き
10/30(土)	13:43	F/A-18E		米海軍	着陸・南向き
	14:25	F/A-18E	4	米海軍	着陸・南向き
10/31(日)	15:23	F/A-18E	3	米海軍	離陸・北向き
	15:24	F/A-18E	2	米海軍	離陸・北向き
11/6(土)	13:32	F/A-18C	2	米海兵隊	着陸・北向き
	16:12	F/A-18E	2	米海軍	着陸・北向き
	16:16	F/A-18E	2	米海軍	着陸・北向き
11/7(日)	11:38	F/A-18C	2	米海兵隊	離陸・北向き
	16:08	F/A-18E	2	米海軍	離陸・北向き
	16:10	F/A-18E	2	米海軍	離陸・北向き
11/20(土)	16:31	F/A-18E	3	米海軍	着陸・北向き
11/21(日)	13:37	F/A-18E	3	米海軍	離陸・北向き

◇物資投下訓練・人員降下訓練 (21年10月～)

月日・曜日	時刻	訓練内容		高度等	備考(注意書きなしは C-130J による)
		人員降下	物資投下		
10/18(月)	11:50		1	ローパス	砂袋。3機編隊中の1機
	11:50		1	ローパス	箱。3機編隊中の1機
11/10(水)	14:30		1	ローパス	2機編隊中1機が実施
11/23(火)	8:37		3	ローパス	C-130J③機編隊～各機が1個投下。
	8:45		3	ローパス	同上

◇他基地所属機による横田基地での訓練（21年9月～）

月日	時刻	機種	機種用途・所属基地など	タッチ&ゴー	ローパス
9/16(木)	14:12～16:00	P-8A	対潜哨戒機(米海軍)	7	
	15:19	MH-60R	輸送・救難・特殊作戦ヘリ(米海軍)		1
9/20(月)	14:38	UH-60L	汎用ヘリ(キャンプ座間・在日米陸軍)		1
9/21(火)	13:25～13:44	C-17A	大型輸送機(ワシントン州マッコード基地)	4	
9/22(水)	9:02	T-4	練習機(空自・入間基地)		1
	14:05～16:15	KC-130J	空中給油機(在日米海兵隊・岩国基地)	16	
9/28(火)	12:12～13:19	P-8A	対潜哨戒機(米海軍)	7	2
9/29(水)	15:00・17:33	UC-12F	軽輸送機(米海軍・厚木基地)	3	
	17:58～19:16	UC-35A	軽輸送機(在日米陸軍・キャンプ座間)		4
10/4(月)	8:55～11:15	P-8A	対潜哨戒機(米海軍)	複数回	
10/5(火)	11:34	MH-60R	輸送・救難・特殊作戦ヘリ(米海軍厚木基地)		1
	15:13	MH-60S	輸送・救難・特殊作戦ヘリ(米海軍厚木基地)		1
10/6(水)	14:20	UC-12F	軽輸送機(米海軍・厚木基地)		1
10/13(水)	15:39	MH-60R	輸送・救難・特殊作戦ヘリ(米海軍厚木基地)		1
10/14(木)	13:24～13:45	UC-12F	軽輸送機(米海軍・厚木基地)	8	
10/21(木)	8:37	UC-12W	軽輸送機(米海兵隊・岩国基地)		1
10/23(土)	12:22～13:06	P-8A	対潜哨戒機(米海軍)	複数回	複数回
	15:07～15:57	P-8A	対潜哨戒機(米海軍)	複数回	複数回
10/27(水)	11:51～13:49	KC-130J	空中給油機(在日米海兵隊・岩国基地)	5	
10/28(木)	16:49, 17:13	MH-60R	輸送・救難・特殊作戦ヘリ(米海軍厚木基地)		2
10/31(日)	12:22～	KC-130J	空中給油機(在日米海兵隊・岩国基地)	2	
11/2(火)	14:03～15:09	KC-130J	空中給油機(在日米海兵隊・岩国基地)	8	
	19:08～21:06	KC-130J	空中給油機(在日米海兵隊・岩国基地)	15	
	19:37～20:33	KC-130J	空中給油機(在日米海兵隊・岩国基地)	6	
11/4(木)	14時頃～	KC-130H	空中空輸機(空自・小牧基地)	約20	
11/8(月)		UC-12W	軽輸送機(米海兵隊・普天間基地)	17:29 離陸	17:41 着陸
	17:48～18:25	UC-12F	軽輸送機(米海軍・厚木基地)	3	
11/10(水)	11:11, 11:38	MH-60R	輸送・救難・特殊作戦ヘリ(米海軍厚木基地)		2
	13:50, 14:21, 14:44	MH-60S	多目的ヘリ(米海軍)		3
	13:57	KC-135T	大型空中給油機(在日米軍・嘉手納基地)	1	
11/11(木)	13:51	MH-60R	輸送・救難・特殊作戦ヘリ(米海軍厚木基地)		1
11/23(火)	10:40	MH-60R	輸送・救難・特殊作戦ヘリ(米海軍厚木基地)		1
	12:35～12:52	KC-130J	空中給油機(在日米海兵隊・岩国基地)	複数回	複数回
	13:25, 14:05	UH-60L	汎用ヘリ(キャンプ座間・在日米陸軍)		2
	14:47	UH-60L	汎用ヘリ(キャンプ座間・在日米陸軍)		1
11/24(水)	14:30～16:33	KC-130J	空中給油機(在日米海兵隊・岩国基地)	11	

オスプレイに係る政府への再質問と回答

今までに何度かオスプレイに係る政府交渉結果をお知らせしていますが、今回は「オスプレイと飛行訓練に反対する東日本連絡会」が本年6月2日に行った政府（外務省と防衛省）交渉後の再質問（8月4日提出）に対する9月7日の政府側の文書回答（⇒以降の文章）の一部を紹介します。いつも空疎な政府側回答にがっかりだが…。

◇質問：CV-22が発する低周波音の測定について、環境省の環境基準が定まらない限り、実施しないという解釈でよいか。低周波音による被害を訴えている基地周辺住民がいるにもかかわらず、測定をしないという対応は、水俣公害事件等の顛末と同様である。即刻、測定を実施していただきたい。…

⇒○航空機から発生する低周波音による影響については、調査研究の過程にあり、個人差や建物の状態による差が大きく、また、未知の部分もあるところです。環境省が示している参照値の適用範囲は、航空機などのような移動発生源ではなく、工場、事業場等からの固定発生源からの場合と理解しています。

⇒○いずれにしても、航空機のような移動発生源からの低周波音については、関連機関において、国内外の関連する科学的知見の収集に努めているところであり、今後、必要に応じて検討してまいります。

◇質問：CV-22の訓練時刻・時間・音量等について2019年11月以降記録をとっていないにもかかわらず、横田基地のCV-22の運用について「離着陸の状況について…一定の役割を果たした」として、離着陸状況調査を中止したことに矛盾がないと考えているのか。離着陸状況の情報提供を中止した後、夜間訓練や長時間ホバリングによる被害が多く生じているが、この事実を目を背けるのか。…

⇒○横田飛行場におけるCV-22の目視調査については、配備から約1年という間、CV-22の離着陸の状況について、地元自治体へ継続的・定量的にお知らせしたことで、一定の役割を果たしたと判断し、令和元年9月末を以って、当省職員による情報提供を終了したところです。

※平成30年10月～12月…日々情報提供（離着陸時間と機数） ※平成31年1月～令和元年9月…月毎に取りまとめ情報提供（離着陸回数）

⇒○横田飛行場における飛行活動等の実施は、米軍の運用上必要不可欠なものです。他方、航空機による騒音は、周辺住民の方々にとって深刻な問題であり、飛行場周辺の騒音軽減は重要な課題の一つと認識しています。

⇒○このような認識の下、日米両政府は横田飛行場について日米合同委員会で、飛行方法や時間の規制等を定めた航空機騒音規制措置を合意しているところであり、これまでの累次の機会に、米側に対し騒音規制措置の遵守するよう申し入れを行っているところです。

⇒○防衛省としては、米軍が我が国の公共の安全や周辺住民の方々々に与える影響に妥当な考慮を払って活動すべきことは当然であると認識しており、航空機の運用等に当たっ

ては、周辺住民の方々への影響が最小限となるよう引き続き米側に働きかけてまいります。

◇質問：2021年6月14日、横田基地所属のCV-22、1機が山形空港に緊急着陸した。この故障の内容について明らかにしていただきたい。また、この故障の原因はCV-22に共通するものであったのか。

なお、この故障について具体的な説明がないままに、6月20日に横田基地に帰還し、6月23日には訓練飛行を再開した。このCV-22の運用に際して、日本政府は十分な説明を受けているのか。受けているならその内容を明らかにしていただきたい。

⇒○令和3年6月14日（月）夕方、米空軍横田飛行場所属のオスプレイが山形空港に予防着陸しました。当該機は、機体の安全が確認できたことから、20日（日）午後4時頃に離陸、その後横田飛行場へ帰投したと承知しています。

⇒○米軍からは、「訓練飛行中に警告ランプが点灯したことによる予防着陸である」「不具合が発生した当該機は、完全に運用可能となるまで徹底的な評価を行う」「乗員ならびに整備担当のプロフェッショナルは、安全な飛行運用を常に最優先にしている」との説明を受けております。

⇒○防衛省として、米軍機の飛行に際しては、安全の確保が大前提との認識の下、米側に対し、安全管理に万全を期すよう求めてまいります。

◇質問：また、日米合意によれば、「移動の際には、可能な限り水上を飛行する」となっているが、日本各地で目撃されているように、この合意は守られていないことが明らかである。この事実を踏まえて、日本政府は米軍・米軍に対し、日米合意を守るように申し入れ等を行っているのか。

⇒○米側は、CV-22の日本国内における飛行運用に際しては、地域住民に十分に配慮し、最大限の安全対策をとるとしており、平成24年9月のMV-22に関する日米合同委員会合意を含め、既存の全ての日米間の合意を遵守する旨、明言しています。

⇒ CV-22の飛行運用の詳細については、防衛省として把握しているわけではありませんが、米軍は全く自由に飛行運用を行ってよいわけではなく、我が国の公共の安全に妥当な考慮を払って活動していると承知しています。

⇒○いずれにしましても、CV-22の日本国内における飛行運用に際しては、安全確保はもとより、周辺住民の皆様への生活への最大限の配慮が大前提です。今後とも、米軍と連携を図りながら、安全面に最大限の配慮を求め、地元の皆様と与える影響を最小限にとどめるよう、求めてまいります。

経過報告と今後の予定 (2021年9月23日～)

☆☆☆☆☆☆ 経過報告 ☆☆☆☆☆☆☆

- * 9/23 オスプレイ反対署名 (昭島駅北口)
 - * 9/27 オスプレイ横田配備反対連絡会
 - * 10/1 横田基地第2ゲート前 Standing 3周年記念
 - * 10/7 なくす会+原告団役員会議
 - * 10/7 オスプレイ東日本連絡会 ZOOM 会議
 - * 10/8 次期訴訟・新横田との情報交換会
 - * 10/20 全労協幹事会で次期訴訟等の協力訴え
 - * 10/21 10.21 集会 (三多摩平和運動センター主催)
 - * 10/23 横田基地もいらない…集会 (福生市民会館)
 - * 11/1 横田基地第2ゲート前 Standing
 - * 11/3 憲法集会 (原告団となくす会の活動展示)
 - * 11/4 なくす会+原告団役員会議
 - * 11/5 オスプレイ横田配備反対連絡会
 - * 11/7 改憲阻止集会で横田基地状況報告
 - * 11/20 オスプレイ反対署名 (立川駅北口)
 - * 11/22 多摩地区労組等に諸要請 (東・西コース)
 - * 11/24 新横田原告団と情報交換会
 - * 11/25 NEWS 印刷～発送作業
- ## ☆☆☆☆☆☆ 今後の予定 ☆☆☆☆☆☆☆
- * 11/30 弁護団+原告団会議
 - * 12/1 横田基地第2ゲート前 Standing
 - * 12/1 東京平和運動センター・幹事会 (要請)
 - * 12/2 なくす会+原告団役員会議 / 次期訴訟準備会

- * 12/3 三多摩平和運動センター・幹事会 (要請)
- * 12/7 オスプレイ東日本連絡会 ZOOM 会議
- * 12/9 重要土地規制法学習会 (立川アイム)

【2022年】

- * 1/1 横田基地第2ゲート前 Standing
 - * 1/6 なくす会+原告団役員会議+次期訴訟準備会
 - * 1/15 オスプレイ反対署名 (昭島駅北口)
 - * 1/17 オスプレイ横田配備反対連絡会
 - * 2/1 横田基地第2ゲート前 Standing
 - * 2/6 第9次横田基地公害訴訟原告団・解団式
- ◇◇◇基地の状況など (確認できたもののみ) ◇◇◇
- ▶ CV-22 オスプレイ…3 ページ参照
 - ▶ 物資投下訓練…4 ページ参照
 - ▶ 戦闘機の飛来状況…4 ページ参照
 - ▶ 他基地所属機の訓練…5 ページ参照

【訓練の情報提供 (北関東防衛局から)】

- * 10/18-29 サムライ即応監査訓練
- * 11/15～17 横田基地 C-130 + 陸自空挺団の降下訓練 (日出生台演習場)
- * 11/19～30 自衛隊統合訓練に横田基地空軍参加予定
- * 12/4～17 米軍再編に係る訓練移転 (日本各地) に横田基地 CV-22 も参加予定

オスプレイの事故率「6.58」が判明 (2020年9月末時点)

先日、久しぶりに米空軍安全センターのWebサイトの事故率記事が更新され、1年以上前の2020年9月末時点のCV-22 オスプレイの事故率データが公表されました。これによると、2019年10月～2020年9月の1年間の間にクラスAの事故が1件増え、事故率はまた上がりました。なお、飛行時間については、防衛省が事故率の信憑性の判断を避けてきた「総飛行時間が10万時間に達していないから」という言い訳は通用しない「106,453時間」に増えていました。飛行時間の増加に横田基地のオスプレイが寄与したことは言うまでもありませんが。

「うるさい!」と思ったら…

各自治体には、苦情としてお伝えください。件数が記録されます。

抗議先一覧

横田基地：042-552-2511
 航空自衛隊横田基地：042-553-6611
 防衛省北関東防衛局：048-600-1800
 防衛省横田防衛事務所：042-551-0319
 外務省：03-3580-3311
 東京都庁：03-5321-1111
 瑞穂町役場：042-557-0501
 羽村市役所：042-555-1111
 福生市役所：042-551-1511

昭島市役所：042-544-5111
 立川市役所：042-523-2111
 武蔵村山市役所：042-565-1111
 日野市役所：042-585-1111
 八王子市役所：042-626-3111
 あきる野市役所：042-558-1111
 青梅市役所：0428-22-1111
 入間市役所：04-2964-1111
 飯能市役所：042-973-2111

諸行動のお知らせ

【オスプレイ関連行動】

◇毎月1日午前11時～の横田基地第2ゲート前
Standing 12月1日, 1月1日, 2月1日, …

◇1月15日(土) 13時30分～14時30分
(昭島駅北口) …反対署名と宣伝行動=コロナ
感染状況に関わらず, 宣伝行動は実施します。

NEWS内容 (目次 = CONTENTS)

2月6日 原告団解団式に参加を……………	1	他基地所属機の訓練……………	5
横田基地メインゲートでStanding 3周年……………	2	オスプレイに係る政府質問と回答……………	6
横田基地の状況 (2021年9月～)		経過報告と今後の予定, うるさいと思ったら……………	7
CV-22 オスプレイの訓練状況……………	3	オスプレイ事故率「6.58」が判明……………	7
戦闘機飛来状況, 物資投下訓練……………	4	諸行動のお知らせ, 目次, 天欄……………	8

天欄

毎年立川で開かれてきた憲法集会。憲法が「施行」された5月3日に開催してきましたが、昨年続き「公布」の11月3日に延期しての実施でした。会場はリスルホール地下の広い展示会場です。高い天井、広々とした空間の壁一面に、三多摩各地の市民団体がコロナ事態の中での活動を思い思いに報告する展示を持ち寄って貼り出しました。その中でひととき目を惹いたのは滑走路直下に暮らすNさん手製・オスプレイ反対の巨大横断幕。毎月1日のゲート前スタンディングでおなじみのカラフルな横断幕です。集会は、壁一面の展示に囲まれながら、竹信三恵子さんの講演を聞き、府中の派遣村や若者の「家がないを解決する」試みを聞くもので、地下に降りる階段にも参加者が座るにぎわいとなりました。

片付けが終わった翌日夜、大横断幕を返却するため、Nさんのお宅に向かい、道に迷いました。「畑の先の森の手前」と覚えていたのですが、そのあたりの畑が減って、新しい家がたくさん建っています。「間違えたな」「いややっぱりこの路地がいいのではないか?」と幾度か五日市街道からの細道を出入りして、「ここしかありえない」と車を止めました。そのとき、森のはるか上、南の空から急旋回して降りてくるC-130輸送機の姿が見えました。久しぶりだったのです。夜の闇を破り、襲ってくる怪鳥の圧倒的な音と光。恐ろしさに金縛りになって見入りました。車を降りてNさんの家にたどりつく間にも、第2機が轟音+光とともにあたりを震わせて頭上を過ぎていきました。「夜の横田基地めぐりが必要だな」「この地域の新住民のみなさんに新訴訟への参加をよびかける活動に取り組む必要があるな」と思いました。

11月14日には、立川基地の北側、砂川の旧拡張予定地で恒例の「砂川秋まつり」が開かれました。31回目です。それなりのコロナ対策をして、でも待ちきれずに、沢山のお店が並びました。40年以上前、荒れ放題の旧拡張予定地にみんなで植えた木が育っているひろばです。自然に囲まれながら、「飛び入りアリ」の舞台がくりひろげられました。私は会場の片隅に中華饅頭の店を出し、手持ちの本を並べました。自主耕作の仲間の女性から預かったタコ焼きも売りました。学生時代の友人が遊びに来てくれて、砂川の秋を楽しむ一日を過ごしました。

立川基地に自衛隊が進駐したのは50年近く前です。「防災基地/3年間の暫定利用」というふれこみは全くのウソになりました。野営訓練や射撃訓練も盛んです。基地の歴史も闘い方もさまざまですが、これからも立川基地と横田基地を見つめながら、基地撤去の闘い・活動を続けたいと心に誓った素敵なお天晴れの日でした。(K)

衆議院議員選挙が終わった。結果は言わずもがなだったが、いつも小選挙区制度を疑問に思う。少なくとも投票を行った「国民の民意」が議員数に反映していないことは明らかだ。棄権した「国民の民意」も考えると、25%程度の「国民」にしか支持されていない政党が絶大な権力を握ることになる結果に納得がいかない。民主国家だとは言いがたい国だ。(M)

12月9日(木) 18時30分～立川女性総合センターで行う「土地規制法学習会」への参加を呼びかけます。戦前の治安維持法につながる危険な法律です。同封のチラシをご覧ください。